

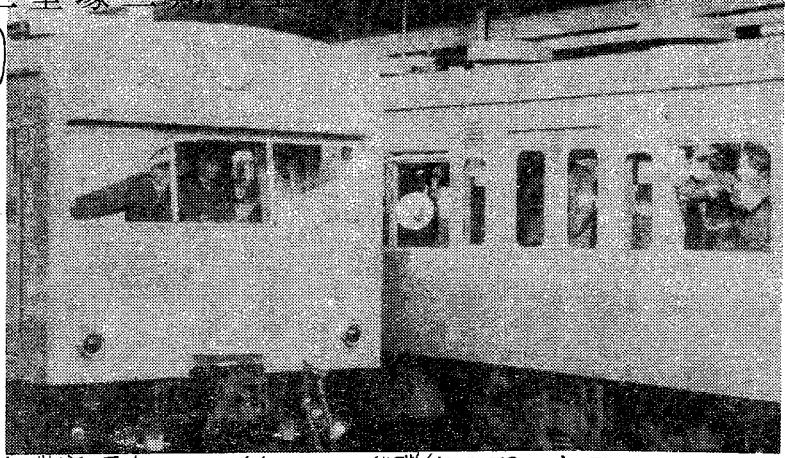
日刊 勤労千葉

86. 2. 6
No. 2158

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二）七二〇七

全国動員の白腕公安、取場を包囲乱入する機動隊 大弾圧で線見阻止 闘争爆発 成田 我孫子

二月四日から開始された線見阻止闘争は、全国動員の公安・白腕、さらには大量の警察機動隊を投入した、前代未聞の大弾圧体制をはねのけ、成田・千葉・津田沼において断固として貫徹された。全組合員が非協力・順法闘争―線見阻止闘争を軸に断固第二波ストへ進撃せよ。



▲隣接の電車からマイク、身をのり出して糾弾(あびこ駅ホーム)

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉砕 /

成田線(我孫子線)線見ダイヤ

施行日	松戸	我孫子	成田
2/4 5 28	8:31	Q 回 9851H	9:22
	10:31	A 回 9850H	9:38
	11:50	Q 回 9853H	12:42
		回 9852H	
	13:39	回 9855H	12:56
	13:47	回 9854H	14:34
	16:17	A 回 9854H	15:25
* 2/26 回 9854H 成田 15:08 我孫子 16:02			

焦る当局―全くの「無資格」運転を強要!
―早朝の我孫子駅で糾弾―
午前六時三〇分、成田支部に第一陣が結集、直ちに我孫子にむかう。我孫子駅の中線に到着した線見列車には、運転台に五名、後部に公安含め約三〇名を添乗させている。なんと、運転台には我孫子線をただの一度も運転したことのない松戸電車区指導員がハンドルを握っているではないか。
われわれは、こうしたムチャクチャな暴挙に対し満腔の怒りをこめ、徹底的な弾劾行動を行った。

60名の阻止線ものともせず 裏切り指道守員を糾弾
―成田駅ホーム―
十二時四二分に成田に到着する列車に対しては、到着前から、高崎・水戸・広島などからかき集められた公安・白腕など約六〇名が運転席付近に阻止線を張り、弾圧体制をひき、われわれの阻止行動を妨害、これに対しても徹底糾弾を叩きつけた。



成田駅ホーム



線見阻止からヤ二波ストへ 総決起集会

160名の公安機動隊に守られて 逃げるように出区 〓 庁舎下見 〓

十四時三四分入区してきた線見列車には、防衛隊として一二〇名の白腕、四〇名の機動隊が付き添ってきたのである。六〇数名の組合員は、直ちに抗議行動を開始、無資格でハンドルを握った松戸電車区指導員に対し徹底的な怒りをあびせた。自らの罪業の大きさに真っ青になった指導員らは、庁舎の下見もそこそこに出区線にむかい、挙げ句に構内速度をオーバーしながら逃げるように出ていったのである。

全体で総括を行い、明日への闘いの意志統一を固め散解した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!